

むつ市議会だより



気になるキーワードをチェック!! 一般質問

おしながき

・避難所運営DX

4ページ

・各地区の活性化策

4ページ

・教育の現状と展望

5ページ

・デジタル防災無線

5ページ

・新時代への取組

5ページ

・5年で4件の火災

5ページ

・下北地区統合校

6ページ

・保険証・国保減免

6ページ

・海外進出!

6ページ

・防衛産業の振興

6ページ

・ジオ全国大会成果

7ページ

・除雪業者の参入は

7ページ

・学校図書私費負担

7ページ

・学びの多様化

7ページ



詳しく知りたいむつ市議会
(公式ホームページ)

題字：三井 百花さん(むつ☆かつ美術クラブ)

絵：冬の訪れ / 村口 奈那弥さん(青森県立大湊高等学校 3年生 美術部)

NEWS FROM MUTSU CITY COUNCIL 【No.32】 2025.1.24

!! 議会だより工事中!
進捗率 70%

ズームイン!!!」

Zoom 1

議案第84号 むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例

令和7年4月から

正津川小学校を大畑小学校に統合

学校理念等の引き継ぎへ

答 学校の統合に当たっては、正津川小学校の理念や備品等も含め、様々な準備を学校にさせていただいている。

問 条例改正のほかに、引き継ぐべきものや、進めている事案等はあるのか。



正津川小学校閉校記念式典(11月9日)



正津川小学校

Zoom 2

議案第86号 むつ市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例

自治体による単独支援は

県内では13番目

遺族見舞金30万円

重症病見舞金10万円を支給

問 重症病については1か月以上の入院ということでしょうか。

答 入院通院に関わらず1か月以上の療養が必要と医師が診断したものによる。

問 条例が公布されればすぐに制度が開始されるということでしょうか。

答 告示日に施行ということで、告示日の事件発生分から該当になる。

議案第83号 むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

2人以上の世帯で

負担額が減少に

青森県内の保険料統一に向けた第一歩

問 この度の改定により、市民にどのような影響があるか。

答 将来的に保険料率の県内統一に向け行うもので、市町村間の差異を解消するため、算定方式を3方式に統一するためのもの。被保険者の税負担を増やさないことを前提にしており、2人以上の世帯で減額となる。

Zoom 3

この議案でむつ市の何が変わるのか。 「注目の議案に

議案第82号 むつ市部設置条例の一部を改正する条例

なぜ？市役所部再編！

再編することによるメリットは？

組織再編の概要 (令和7年4月から)



Zoom 4

問 産業政策部を2つに分ける理由と連携はとれるのか。

答 産業政策部を農林水産部及び商工観光部の2つに分けるといふことで、第一次産業と第三次産業を明確にする。これまでも部横断的な業務に関しては、各部長の指揮の下、連携して協議を行ったりにしているため、その点については問題ないと考えている。

問 都市整備部と建設技術部を統合することで、どのような効果を見込んでいるのか。

答 市では、土木・建築技術者の不足の課題から、令和3年度に全庁に分散していた技術者職員を集約し、建設技術部を設置し、建設事業を効率的かつ円滑に実施してきたところである。都市計画、道路・橋梁管理、住宅政策、用地を所管する都市整備部は、所管の事業において、建築技術部と関わりが深いことも踏まえ、1つの部へ統合し、それぞれの専門的な知識や技術を最大限に活用し、まちづくりを推進していきたいと考えている。

※ここに掲載していない議案も含め、各議案の議決結果は9ページをご覧ください。

Zoom 5



デジタル防災センター完成予想図

合併浄化槽への設置替え

当初の想定を上回る

723万6000円の増額補正

問 浄化槽設置整備助成事業費が増額になっているがその要因は。

答 単独浄化槽を合併浄化槽へ設置替える際の補助金となっており、4月1日から開始した事業であるが、申請件数が当初の想定を上回ったことから増額補正となった。

デジタル防災センター

国庫補助金1140万円減額

事業計画への影響は？

問 国庫補助額が減額になった理由と事業への影響は。

答 国との協議により、一部が国庫補助の対象外となったことから財源を地方債に振り替えたものであるが、事業計画については影響はない。

議案第104号 令和6年度むつ市一般会計補正予算

一般質問 14の視点



ホームページでは一般質問を音声でお聴きいただけます →

議員から独自の視点で質問・提案する一般質問
今回は14人が登壇

中村 正志	高橋 征志	佐賀 英生	村中 浩明	浅利 竹二郎	佐藤 広政	佐藤 武	富岡 直哉	野中 貴健	井田 茂樹	工藤 祥子	櫻田 秀夫	杉浦 弘樹	住吉 年広
P. 7	P. 7	P. 7	P. 7	P. 6	P. 6	P. 6	P. 6	P. 5	P. 5	P. 5	P. 5	P. 4	P. 4
学びの多様化	学校図書私費負担	除雪業者の参入は	ジオ全国大会成果	防衛産業の振興	海外進出！	保険証・国保減免	下北地区統合校	5年で4件の火災	新時代への取組	デジタル防災無線	教育の現状と展望	各地区の活性化策	避難所運営DX

(無会派)
杉浦弘樹 議員が問う

各地区の活性化策



(公明・自由)
住吉年広 議員が問う

避難所運営DX



Q 地域の活性化を考えると、各地区に地域おこし協力隊の拠点を設けるべきと考えるが市の見解は。

A 各地区の課題の把握、その解決については、その地区の方々や団体等と連携した取組が効果的だと考えている。各地区の団体等とコミュニケーションを図りながら、受入体制の強化及び配置について検討してまいりたい。

Q 福祉や子育てといった専門性の高い相談に関する窓口での対応の行き違いを回避するため、相談者の許可を得る

A 全ての窓口で録音機能装置を導入する費用対効果など、いくつかの課題があることから、今後慎重に検討していくとともに、行き違い防止のため、わかりやすい説明や相談内容の記録の徹底、複数の職員で対応するなど、職員一人ひとりがこれまで以上に相談者に寄り添った対応を行ってまいりたい。

Q 地域の活性化を考えると、政側で録音をするなどの対応策が必要と考えるが市の見解は。

A ことを前提に、相談内容を行

Q デジタル化に伴うコスト面の課題について具体的な計画があるのか伺う。

A 避難所運営の受付業務におけるDXとしては、アプリを利用するものであったり、機械を利用する方法であったり、様々な解決策があると認識しているが、導入により多額の費用が発生することから、どんな方法が当市にとって望ましいか現在検討しています。現在検討しているシステムとしては、市公式ラインを活用したシステムを検討しています。

Q 投函漏れが発生した根本的な原因は何か伺う。

A 追加で届いた不在者投票を処理し、投函しましたが、同時に他の作業も進めていたため、一時保管した投票用紙の投函を失念したことが原因と考えています。



◎ 一般質問



(無会派) 工藤祥子 議員が問う

デジタル防災無線

Q ジェンダー平等社会を目指すとは、男性も女性も多様

Q デジタル防災無線の代替手段について具体的な説明を。
A 補完的な役割を担うのは「音声配信アプリ」で、防災無線の対象エリア以外の方でも、スマホに専用アプリを登録してれば、無線の放送内容が流れてきます(令和7年1月運用開始)。

Q ジェンダー平等社会を目指すとは、男性も女性も多様
A 市職員の女性比率34%、管理職の比率23%。会計年度任用職員の比率は71%。県導入のパートナーシップ宣誓制度についてはホームページで紹介している。



(公明・自由) 櫻田秀夫 議員が問う

教育の現状と展望

Q 当市のインクルーシブ教育の現状と課題は?
A 特別支援学級の児童生徒は、通常学級でも、必要な支援を受け共に学んでいる。「授業のユニバーサルデザイン化」(なくては困る支援等)を取り入れ、学びの充実感を得るための授業改善を重ねているが、現状、教職員の人材確保が課題である。



Q 校務改善と教育改革(午前5時間授業)について伺う。
A 週1日定時退勤日を設定し、校務改善ソフトの導入等により、教職員の勤務時間は確実に改善されている。また「午前5時間授業」は、文部科学省研究開発学校の取組だが、当市は、学区外通学の家庭や遠方から通う教職員の負担等を考慮し、実施している学校はないが、先進的に取り組む全国の動向を注視しながら引き続き、研究していく。

Q スキー場・リフトの通年利用と誘客についての考えを伺う。
A リフトの通年利用には全体構造の改修・人件費・維持管理経費などが新たに発生するので難しいと考えているが、通年での誘客については周辺に多くの観光資源が点在し利用者の増加に伴い市内の活性化に繋がるので関係課と研究していきたいと考えている。

Q 増収に向け、いただいたアイデアも参考としながら、地域事業者の皆様と連携した視点での返礼品の開発に取り組みとともに、効果的な広報手法について幅広く検討し、取り組んでまいります。



するがどの様にお考えか伺う。



(市誠クラブ) 野中貴健 議員が問う

5年で4件の火災



Q ごみ袋が有料化になって来年度で30年になるけど、削減効果はあったの?
A 平成17年度と令和4年度の比較では、一人一日当たり約144g減少しており、市民の皆様のリサイクルやごみ分別等のご協力が減少に繋がったと考えます。

Q ごみ収集車の車両火災の報道をたまに見かけるけど、むつ市でもあるの?
A 直近の5年で4件発生。
Q 原因は?
A 一例で、中身が残存したカセットボンベやスプレー缶などをパッカー車で巻き込んだ際に、火花が発生し残存したガスに引火して発生するとされている。

Q パッカー車ではなく、平ボディートラックで収集する方法もあるが?
A 効率的且つ安全な方法について、調査研究していく。



(自民クラブ) 井田茂樹 議員が問う

新時代への取組

Q 減少するふるさと納税寄付額増収に向けた新たな取組として大相撲の懸賞旗を提案する。

Q 減収するふるさと納税寄付額増収に向けた新たな取組として大相撲の懸賞旗を提案する。



(陸奥未来)
富岡直哉 議員が問う

下北地区統合校

Q 青森県教育委員会に対し、下北地区統合校について、11月27日に要望書を提出した際に、風張県教育長からはどのような発言があったのか。

A 令和7年度に設置する開設準備委員会で協議することとしている特色ある教育活動、部活動等に関する要望については開設準備委員会についてはいりません。また、開設準備委員会での検討事項以外の要望については、現在実施している青森県立高等学校魅力づくり検討会議等を踏まえながら、県教育委員会で対



(無会派)
佐藤武 議員が問う

保険証・国保減免



Q マイナ保険証の登録解除は受け付けているのか、手続はどうすればよいのか。

A 登録解除は開始している。登録解除には、解除申請書の提出が必要であり、本人確認ができるものを持って、国保年金課又は各庁舎で手続してほしい。

Q マイナ保険証を解除しないでマイナンバーカードを返納した場合、保険証はどうなるのか。

A マイナ保険証を利用できなくなる。返納は市民課や各庁舎の窓口での返納手続き

後、マイナンバーカードを管理するシステムに登録し、各保険者に情報提供され、申請することなく「資格確認書」が交付される。「資格確認書」が届くまでに日数がかかることが予想される。

Q 国民健康保険税の減免制度について。

A 減免申請書を提出し、内容を確認するために必要な書類を添付していただく。減免の相談は丁寧に対応すべきものである。納付困難な場合は、まずは相談してほしい。



(市誠クラブ)
佐藤広政 議員が問う

海外進出!!

Q トップセールスとして市長の所感と今後の展開は。

A 「トップセールス」の一番の効果は市長自ら相手方の経済団体や企業、さらには自治体のトップの方と、「Face to Face」でお互いのこれまでのストーリーや、これからのビジョンを語り合い、価値観をすり合わせること、担当者同士のセールスやオンラインでの商談と比べ、より深く信頼関係を構築し、より強く攻め込むセールスを行うことができる点であると考えており、成長させ



るため、今年度の取組を継続・発展することで、さらなる市の認知度の向上、特産品の取引件数やインバウンド観光客・消費額の増加につながる事業を実施し、いずれの事業につきましても、むつ市が「稼げる地域」へ成長することを念頭に事業を展開してまいります。

(自民クラブ)
浅利竹二郎 議員が問う

防衛産業の振興



Q むつ市における大湊地方総監部が執行する人件費を含めた総額はいくらか。

A 令和5年度決算における大湊地方総監部の執行額は93億円、これに防衛省本省が支出する大湊地区勤務隊員の人件費約162億円を合計すると約255億円になる。

Q その内、艦船修理費の総額と市の執行分はいくらか。

A 令和5年度に艦船修理に關する契約金額の総額は、163億2千万円その内むつ市内契約分は、8億6千万円、全体の5%程度。

Q 艦船修理費のむつ市執行分はわずか5%である。1万トンドックを活用した艦船修理費の拡充が不可欠である。そのことの認識は。

A 1万トンドックの拡充が図られることは、地元企業の受注機会の増加や護衛艦に所属する隊員の流出防止などに寄与するものと認識する。

Q 正常な状態で艦船修理を実施するためには大型クレーンが不可欠である。

A 大型クレーン設置について、意見交換を行っている。

◎ 一般質問



(市誠クラブ) 佐賀 英生 議員が問う

除雪業者の参入は

Q 除雪事業の新規参入方法は。

A 除雪事業を実施する生活道路は、幅員等の事情により作業条件が異なり、市民生活に影響が出ないように行う必要があるため、機械の保有数・オペレーターの人数のほか、路線の熟知度も総合的に勘案した上で業者選定している。道路除雪に対応可能な体制であると判断された場合、各地区ごとで会議を実施し路線調査を行います。申し入れ時期によりその年度の参入は難しい場合もある。地域の実

Q 除雪事業の非常時の国の指示権は、どうなっているか。

A 改正に至った経緯は、近年の非常事態において国と地方公共団体の間で生じた諸課題に対応するものであり、新型コロナウイルス感染症・甚大災害対応においては、地方公共団体のみでは対応が困難である場合などに顕在化するためのものである。



(陸奥未来) 村中 浩明 議員が問う

ジオ全国大会成果

Q ジオパーク全国大会下北大会の成果は。

A 地域内外から760名が参加。また地域の小・中・高校の児童・生徒1,364名が参加し、そのうち口頭発表が10校、ポスター発表が29校、ボランティアスタッフとして7校131名に協力していた。大会3日間の来場者は約12,500人だった。

Q ジオパーク学習の取組をどのように推進していくのか。

A 既存事業を継続するほか、全国のジオパーク地域の学校と交流した取組も検討している。今後は、ユネスコ世界ジオパーク認定を目指し、下北が世界に誇れる地域となるよう力を注いでいく。

Q ふるさと納税の今後の取組は。

A 人気の高い返礼品のお米については、生産者の方々へ協力を依頼している。脇野沢地区での青森サーモンの養殖を開始している企業に対し、今後の商品化を見据え、返礼品として提供を依頼しており、引き続き交渉を進めていく。



(自民クラブ) 中村 正志 議員が問う

学びの多様化

Q 全国的に不登校の児童生徒が増加しているが、むつ市の現状はどうか。

A 令和5年度、当市の不登校の児童生徒数は、小学校36名、中学校112名、計148名で、前年度と比較すると、小学校で12名、中学校で40名、合計で52名の増加となっている。

Q むつ市での不登校支援はどのようなことを行っているか。

A 市内小中学校では、現に不登校状態の児童生徒への対応のほか、新たな不登校を生

まない魅力ある学校づくりに向け、一人一人に寄り添いながら取り組んでいる。また、むつ市教育相談室で、児童生徒と保護者を対象にした教育相談や支援を充実させている。今年度よりメタバースを活用した不登校支援を行っており、現在41名が登録している。



(無会派) 高橋 征志 議員が問う

学校図書私費負担

Q 図書室にある学校図書は、本来公費(行政の予算)で購入すべきもの。それにもかかわらず、保護者から徴収した私費(諸費)で図書を購入している学校があることを、どう認識しているか。

A 学校図書は公費で購入すべきものであるが、一部の学校においては、より充実した学校図書環境の実現のため、保護者の理解のもと、私費の徴収が行われているものと認識している。

Q 私費での図書購入をやめよう、教育委員会から学校へ指導できないか。

A 私費による学校図書購入は、保護者の理解の上に成り立っている。保護者にしっかりと説明し、理解を得た上で行うよう、学校へ伝える。

Q 文部科学省は「住民の税外負担の解消の観点から安易に保護者等に負担転嫁をすることは適当ではない」と、平成24年に通知を出している。保護者から集めた私費で学校図書を購入するのをやめ、その分を公費で負担できないか。

A 予算措置を検討する。



11月25日開催 市からの報告事項

使用済燃料中間貯蔵施設

に関する調査検討特別委員会

前回の委員会からの主な経緯

8月22日

使用済燃料中間貯蔵施設に関する 調査検討特別委員会の開催

- ・安全協定について市から報告を受ける

9月26日

リサイクル燃料備蓄センターへの 1基目の金属キャスク搬入

- ・柏崎刈羽原子力発電所から使用済燃料を収納した金属キャスクが搬入される
- ・市および青森県の担当部局において、安全協定に基づく立入調査を実施

11月6日

RFSが原子力規制委員会から 使用前確認証を受領

11月7日

RFS、東京電力HD、 日本原子力発電による事業開始報告

- ・青森県知事およびむつ市長による貯蔵建屋の視察を実施し、使用済燃料が収納された金属キャスクの保管状況を確認
- ・同日、青森県知事およびむつ市長がRFS、東京電力HD、日本原子力発電による事業開始報告に対応

ここがポイント!!

立入調査の結果

- 荷揚場岸壁における作業・検査状況、陸上輸送状況について調査し、一連の作業が法令の遵守のもとに安全に終了したことを確認
- 併せて実施した環境放射線測定の結果でも、使用済燃料の受入に伴う周辺住民および環境への影響は認められなかったことを確認

事業開始報告

RFS

- 11月6日に原子力規制委員会から使用前確認証を受領し、炉規制法に基づく事業開始となった
- 引き続き、安全最優先で事業に取り組むとともに、事業の透明性を高め、地域に根差した事業運営に努めていく

報告に対する質疑

● 50年間の貯蔵の起点日は？

問 50年間貯蔵の起点となる日は？
答 起点日は、搬入をされた9月26日となる。

● 事業開始が遅れた影響は？

問 事業開始時期が当初の予定からずれたことによる市政への影響はあるのか。
答 開始時期にこだわらず、安全最優先にこれまで、市民の皆様への不安を払拭することを事業者に伝えていたので、市政への影響はない。

● 搬出先の明確化は？

問 次期エネルギー基本計画で示す搬出先の明確化について、市ではどのように考え、国に求めていくのか。
答 以前から、六ヶ所再処理工場に搬出するよう国や事業者に強く要望している。これからの記載内容を注視し、対応を考えたい。

● 今年の税収見込みは？

問 今年の税収見込みは。
答 9月から12月までの4か月分を計上した248万円となる。

● 税収の使い道は？

問 使用済燃料税の使い道は。
答 市民の皆様からのご意見として「産業の振興」「子育て政策」に関する要望が多かった。また「防災安全対策」等、市民の皆さまのニーズにあった政策や事業に税収を今後充当していく。

ここでおさえる！ 第262回定例会の議決結果

◎ 第262回定例会

◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし

議案番号	件名	審議結果
82	むつ市部設置条例の一部を改正する条例	◎
83	むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	◎
84	むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例	◎
85	むつ市ふれあいスポーツパーク条例の一部を改正する条例	◎
86	むつ市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例	◎
87	むつ市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎
88	むつ市水道の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例	◎
89	指定管理者の指定について (むつ市ウェルネスパーク外1施設)	◎
90	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	◎
91	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
92	市道路線の認定について	◎
93	市道路線の変更について	◎
94	市道路線の廃止について	◎
95	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(大間町)	◎

議案番号	件名	審議結果
96	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(東通村)	◎
97	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(風間浦村)	◎
98	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(佐井村)	◎
99	むつ市監査委員に選任する者につき同意を求めることについて	◎
100	むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて	◎
101	むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて	◎
102	むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて	◎
103	むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて	◎
104	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎
105	令和6年度むつ市水道事業会計補正予算	◎
106	むつ市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	◎
107	むつ市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎
108	むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○
109	令和6年度むつ市一般会計補正予算	◎
報23	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和6年度むつ市一般会計補正予算)	◎

各議員の賛否一覧

賛否が分かれた議案について、議員別に賛成・反対を公表します。

○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決時に不在。議長(富岡幸夫)は採決に加わらない

議案番号等	議決結果	合計			市誠クラブ					公明・自由		自民クラブ			陸奥未来			会派に属しない議員							
		賛成	反対	欠席・不在	佐賀英生	東健而	野中貴健	大瀧次男	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	富岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	富岡直哉	高橋征志	杉浦弘樹	佐藤武	工藤祥子
議案 108	可決	17	4	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●

★ 議案の内容や過去の賛否一覧も議会ホームページから見るができます →→→



11月8日・9日

議会報告会 及び 市民との意見交換会を

市内4会場で開催しました

市民の皆さまから意見交換内で
いただいたご意見を一部紹介



福祉環境の充実

PICK UP
01

高齢者が安心して暮らせるよう医療・介護等の充実を！

参加者の声

1人暮らしの高齢者が孤立・孤独しないよう対策し、さらに安心して生活できる環境が充実してほしい！

遊休公共施設の活用

PICK UP
02

現在、活用していない公共施設を利活用してほしい！

参加者の声

使用していない児童館や閉校した学校の利活用方法を市や市議会で若い人達と一緒に議論してほしい！

人口減少対策

PICK UP
03

旧町村地区で短期間の移住体験を実施してほしい！

参加者の声

実際に居住しないとわからない部分もあると思うので、空き家を活用し、旧町村地区で短期間の(祭り等のイベント時期に合わせる形でもいいので)移住体験を行ってほしい！

※ 今回、掲載できなかったご意見につきましては、後日、むつ市議会ホームページで公開する予定となっております

TOPICS

青森大学むつキャンパス生と むつ市を語る ～PART 2～

市民の声

前号に引き続き「青森大学むつキャンパス学生とむつ市議会議員との意見交換会」で出された学生の意見を紹介します。



若者から高齢者まで楽しめる施設がほしい！
今のむつ市にも公園や体育館などはあるが、公園の数が少なく、冬期間は使用できない状況です。その期間は体育館の利用が集中し、利用できないことがあります。
それらを改善するためにも若者から高齢者まで楽しめる、集える施設が更にあつたらいいなと思います。
また、将来の職業選択の幅を広げるためにも、多様な資格を取得できる環境が充実してほしいなと思います。

若者から高齢者までが 楽しめる施設がほしい



チャレンジしやすい街に

実現できたら良いと思う取組として「フライング・趣味の充実」の為にライブ、イベント、スポーツ観戦や総合施設、遊べる場所をもっと増やしてほしい！
働く環境の充実のために、給料が高く、働く場所がたくさんある街！むつ市以外からの交通のアクセスも充実させてほしいです。
そして、人とのつながる街のために、子育て・福祉への支援で優しい街、誰でも教育が受けられる環境として、大学・専門学校等の機関をもっと増やしてほしい！
市民の声を聞いて市長、議員に実現してほしいです。

複合娯楽施設が ある街に

むつ市内または下北管内に、ショッピングセンターや飲食施設、遊技場などの施設が集まった大型娯楽施設があれば、若い年代は地元に残るのではないかと思います。そのほかに、子育てや就労支援、住宅支援などの環境整備を行政で積極的に行うことで、若者の定住率が改善されると思いますし、道路整備やバス運行の増便など、交通の便が改善されるともっと暮らしやすい街になると思います。



号外

2年連続2回目
むつ市議会
綱引き大会出場

一本の綱をとおして
市民と交流

議員有志により、令和6年12月1日(日)に第37回むつ下北地域綱引大会に出場しました。2回目の出場となった今年も一般男子の部で出場し、7位となりました。綱引きを通して多くの参加者をはじめとする関係者の皆さまと交流することができました。

編集後記

左側の記事にもあるけど、昨年に引き続き議員有志で綱引き大会に参加。結果は惨敗(泣)でもね、負けられない闘いはまだまだ続く。ライバル『広報むつ』に追いつけ追い越せで今年も『むつ市議会だより』は頑張るぞ～!! (野中)

